

日常生活での放射線被ばく

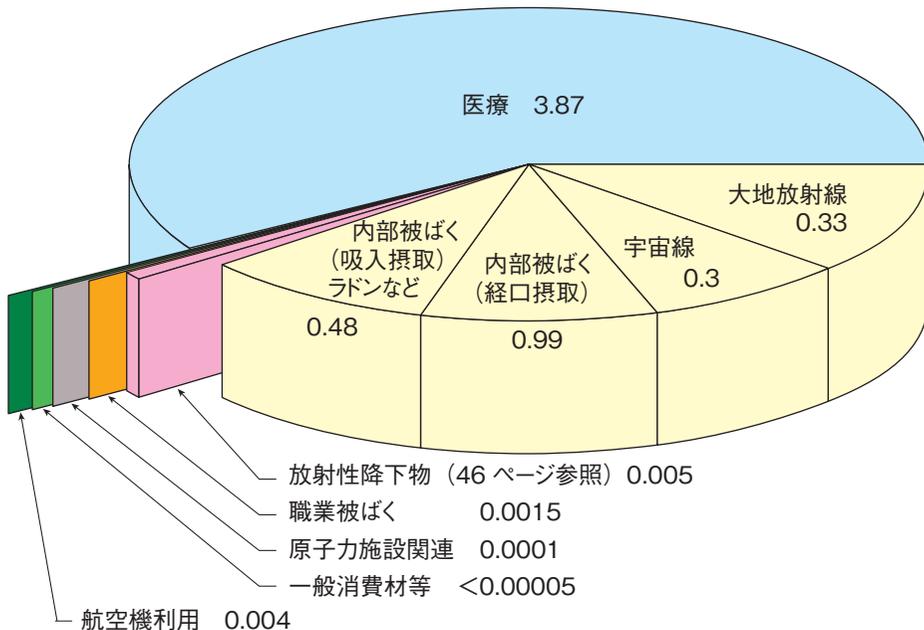
私たちの身近にはどのような放射線があるのでしょうか。

発生源のところ（34、35 ページ参照）で述べたように、放射線や放射性同位元素には自然のものと人工的なものがあります。このうち、日常的に私たちに最も関係が深いのは、**自然放射線**と**医療用放射線**です。

まず、いろいろな放射線発生源から日常生活で人間が被ばくする割合を見てみましょう。2011 年に日本人について調べられたものを例として下に示します。黄色の部分で自然放射線で、全体の 35% をしめています。一般人の放射線被ばくの量の大部分は自然放射線と医療用放射線に起因しています。

調査は東日本大震災の前に行われました。従って、同大震災により福島第一原子力発電所から放出された放射性物質の影響が現れる期間は調査期間に含まれていません。

一人当たりの線量 5.98mSv/年



日本人の環境放射線被ばく線量 (mSv/年)

〔「新版生活環境放射線」原子力安全研究協会 (2011)。

表 7.1.1、表 7.1.5 および表 7.2.1 の値から作図]